第２回　倉敷市水道事業経営審議会会議録

１　日　時　　令和８年１月２０日（火）１３時３０分～１４時５５分

２　場　所　　旧水道局３階大会議室

３　出席者　　出席委員１４名

天王寺谷会長、中濱副会長、今井委員、大橋委員、岡本委員、金井委員、河村委員、児玉委員、小引委員、竹田委員、別所委員、山路委員、山野委員、渡邉委員

事務局１１名

尾崎水道事業管理者、智片参事、佐藤副参事、森兼副参事兼水道管理課長、藤井水道総務課長、岩知道水道サービス課長、難波水道サービス課長代理、野上水道建設課長、小河原浄水課長、岡本浄水課長主幹、高橋水道総務課企画検査室長

４　会　議

（１）　議　事

① 令和６年度倉敷市水道局の決算状況

② くらしき水道ビジョン-2019-見直し（経営戦略改定）の概要について

＜事務局からの主な説明＞

①　令和６年度倉敷市水道局の決算状況

・水道水をつくり送り届けるための収支について、令和２年度から令和６年度において、料金収入はほぼ横ばいで推移しているが、支出は物価上昇などにより増加傾向にある。

・水道施設の耐震化を進めるため、建設改良費は増加している。

②　くらしき水道ビジョン-2019-見直し（経営戦略改定）の概要について

・令和４年度には水道施設の耐震化を加速させる国の方針を反映した倉敷市水道施設第一期基盤強化計画の策定や世の中の動きとして物価上昇が大きくなるなど、当初版策定後に生じた内外の環境変化を踏まえ、ビジョンの見直しを行い、残り３年間（令和８年度から令和１０年度まで）の取り組みの精度を高めるとともに、令和１１年度以降に策定予定の次期ビジョンへ円滑に継承を図ることを目的に行う。

・ビジョンは、経営戦略を兼ねており、今後１０年間（令和７年度から令和１６年度）の

投資財政計画を策定する。

・投資財政計画について、令和１０年度以降実質利益がマイナスとなり、内部留保資金を取り崩すようになる。そのため、内部留保資金が２０億円を下回らないよう、令和１２年度に料金改定を見込んでいる。また、水道施設の耐震化を計画通り進めていくため、建設改良費の増加に伴い企業債借入も増加するが、企業債残高対給水収益比率は、長期的には減少傾向に転じる見込みである。

＜質疑＞

質疑なし

各委員に、意見等があれば資料５「「くらしき水道ビジョン－２０１９－見直し（経営戦略改定）の概要について」意見等」を後日提出するよう依頼。

（２）　その他

事務局　　次回の審議会は、２月１２日（木）午後に本庁舎１０階大会議室で開催させていただく予定です。後日、開始時刻等についてご連絡します。

令和８年　2　月　18　日

代表署名人　天王寺谷　達将